

申請書作成における留意点(補足資料)

記入要領、記入例(青字)は削除して提出ください

(申請書様式 1)

ポイントをおさえ評価者が読みやすいように作成すること。11 ページ以内とし、フォントは MS P 明朝、サイズは 10.5 とし、行間は固定値 18 とすること。また、審査の過程において資料の追加提出等を求めることがあります。本申請様式においては、特段の注記がない限り「次世代 AI 人材育成事業統括」を「事業統括」と記載します。提出時には申請書のファイル名を、「 大学\_R6 BOOST-S.docx」、「 大学\_R6 BOOST-S.pdf」とすること。

次世代 AI 人材育成プログラム(博士後期課程学生支援)申請書

2024 年 月 日提出

基本情報

プロジェクトの題目			
申請大学名		法人 大学	
事業統括	氏名		職名
	電話番号		メールアドレス
	所属		
	研究倫理受講番号	(数字 7 桁+ARD など)	
担当者	氏名		職名
	電話番号		支援対象学生数には、年間 240 万円以上の収入のある学生は除外する(注 1 の 2 点目)としています。2023 年度のみを対象としていることから、可能な限り、本事業に応募可能な支援対象の学生数を記入ください。社会人の給与把握が困難な場合、社会人は 240 万円以上の収入があると仮定して対象となる学生数を算出してください。また、その旨を表の下部または「2-1. 博士後期課程の現状」の<補足説明>に記入ください。
	所属		
	住所	〒	

1	本プログラムの支援対象学生数 [人] (注1)		
2	本プログラムで希望する申請人数 [人] (注2)	3年度総計	0
3	うち 年度毎の申請開始人数 [人] (注2)	うち2024年度支援開始	0
4	うち 年度毎の申請開始人数 [人] (注2)	うち2025年度支援開始	0
5	うち 年度毎の申請開始人数 [人] (注2)	うち2026年度支援開始	0
6	最小支援人数(記入した人数未満の場合は支援を希望しません) [人] (注3)	3年度総計	0

右端の列に数字(半角)を入力ください。2 行目は支援人数の合計が自動算出されますので記入不要です。

注 1: 支援対象学生数: 本事業の対象となる国家戦略分野(次世代 AI 分野: AI 分野および AI 分野における新興・融合領域の研究を推進する博士後期課程学生から下記の者を除いた人数を記入してください。

- ・独立行政法人日本学術振興会の特別研究員
- ・年間 240 万円以上の生活費に係る奨学金や給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生
- ・国費留学生(日本政府から奨学金を支給されている留学生)、本国からの奨学金等の支援を受ける留学生
- ・標準修業年限超過者
- ・休学中の者

注 2: 本プログラムの目的は、次世代 AI 分野の研究者層を厚くすることです。そのため 2025 年度や 2026 年度支援開始の学生については、優秀な博士前期課程の学生を博士後期課程に進学させる取組を期待します。なお次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)選抜学生の本プログラムへの移行により、SPRING で支援する次世代 AI 分野の学生の支援人数が大きく減ることがないように、配慮をお願いします。(SPRING 申請大学の場合)

注 3: 審査で査定された採択人数・枠が、最小支援人数より少ない場合は、不採択とします。例えば、3 年間で採択人数・枠が 1 人でも、本事業による支援を希望する場合は、「1」を記入してください。毎年の採択人数・枠が 1 人でも、本事業による支援を希望する場合は、「3」を記入してください。(審査による採択人数が少ない場合、本提案での育成計画・体制を構築・推進することは、大学にとって効果的・効率的でない場合があることが考えられるため、最少支援人数の記入欄を設置しました。)

## 1. ビジョン

### 1-1. 方針・ビジョン(5年後を目処に) (1ページ以内)

以下に留意の上、5年後を目処に、ありたい姿を記載ください。適宜、図をご活用ください。

- ・ 次世代 AI 分野において、我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀で志のある博士後期課程学生・研究者層を厚くする(人材増)のための課題、それを踏まえた当該分野の博士後期課程学生の研究・育成方針、将来展望
- ・ 技術の進歩が速く、多様な研究分野や産業・社会のニーズの変化が大きい次世代 AI 分野において、戦略的な研究を推進できる次世代 AI 人材の育成体制・方針

1-2. 目標 (5年後) ~次世代 AI 分野に限る~

1-2.と2-1.ならびに補足説明をあわせて1ページ以内でご記入ください。

次世代 AI 分野の博士後期課程について、下表に人数を記入してください。表の形式は変えないでください。

FAQの2-2-3に記載の通り、基準日2024年2月1日としてください。当該年度の秋期入学者数も含めて下さい。

No	次世代AI分野の博士後期課程について	実績	現状[人]	5年後計画[人]
1	入学者数	2023年度実績	0	
2	修了者数	2022年度実績	0	
3	修了時の就職者数(注3)	2022年度実績	0	
4	修了後の自大学への就職者数	2022年度実績	0	
5	修了後の外部アカデミアへの就職者数	2022年度実績	0	
6	修了後の民間企業等への就職者数	2022年度実績	0	
7	修了後の上記以外への就職者数	2022年度実績	0	

2022年4月1日~2022年3月31日に修了した人数を記載して下さい

自大学の事務職・研究職の両方を含めて下さい

アカデミアおよび公的研究機関の研究職・事務職を含めて下さい

民間企業の研究職・事務職および官公庁の事務職(公的研究機関除く)への就職を含めて下さい

起業・自営業を含めて下さい

注3: 就職者: 自営業主等、無期雇用労働者、雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務(パートタイム労働者を含む)の労働者を含む。https://www.mext.go.jp/content/20221221-mxt\_chousa01-000024177\_001.pdfの8ページを参照。学校基本調査に記載の臨時労働者(雇用契約期間が1か月未満で期間の定めのある者)、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1か月以上1年未満の者は含まない。この黒字の注釈は削除しないでください。

2. 現状

2-1. 博士後期課程の現状

以下の表に人数をご記入ください(黒塗り部分は記入不要)。表の形式は変えないでください。補足説明がある場合は、表下部にご記入ください。

FAQの2-2-3に記載の通り、基準日2024年2月1日としてください。当該年度の秋期入学者数も含めて下さい。

黒塗り部分は記入不要です。(No.1~9の2020~2022年度)

No	項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1	博士後期課程入学者(a)				0
2	(a)のうち次世代AI分野専攻者数(注4)				0
3	博士後期課程全学年在籍学生数(b)				0
4	(b)のうちSPRING・FS選抜学生数(注5)				0
5	(b)のうち次世代AI分野専攻者数注4				
6	(c)のうち社会人学生数				
7	(c)のうち国費留学生数				0
8	(c)のうち留学生数(国費留学生除く)				
9	(c)のうちSPRING・FS選抜学生数(注5)				
10	特別研究員(DC)採用学生数(d)	0	0	0	0
11	(d)のうち情報学分野(注6)				
12	特別研究員(DC)応募学生数(e)	0	0	0	0
13	(e)のうち情報学分野(注6)	0	0	0	0

2023年度秋期入学者数も含めて下さい

2023年度の春期・秋期入学・修了の両方を含めて下さい。集計は2月1日時点の基本とします。

2023年度にSPRING、フェローシップで支援された学生数(=支援枠数)となります。(2023年度の新規支援開始のみではなく、過年度からの継続も含みます) No.9も同様

当該年度にDC特別研究員に採用された学生数を記載下さい。過年度からDCの支援を受けている学生は不要です。

当該年度にDC特別研究員に応募した学生数を記載下さい。

注4: 次世代AI分野専攻者数は、AI分野およびAI分野における新興・融合領域の研究を推進する学生数を記入ください。

注5: SPRING:次世代研究者挑戦的研究プログラム、FS:科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業

注6: DC1、DC2特別研究員の書面合議審査区分にて、「情報学」に該当する人数

<補足説明>

在籍学生数、入学者数は、基本的には、学校基本調査の数字にその年度の「秋季入学者」に関する情報を足していただくとお考え下さい。その他、どうしても集計条件等にて不確かさが残る場合には、こちらに、集計方法などの補足説明を追記いただけますと幸いです。

**2 - 2. 博士後期課程学生育成のこれまでの実績 (1 ページ以内)**

貴大学における AI に関する研究に取り組む博士後期課程学生育成の特色および実績をご記入ください。

### 3. 選抜・育成の体制・方針・計画

#### 3-1. 事業統括（1ページ以内）

事業統括について以下の必要事項をご記入ください。

氏名		研究者番号	
役職			
研究概要 ・専門分野			
経歴			
主な業績 ・受賞歴			
育成経験			
事業統括に指名 した理由			
経営層から委譲 された権限			

採択後の事業統括の変更は、委員会にてその妥当性を評価することとなりますので予めご承知おきください。

3-2. 次世代 AI 人材育成チームメンバー計画（横向きレイアウトで2ページ以内）

学生の選抜・育成を行う専門家について以下の必要事項をご記入ください。

氏名	研究者番号	役職 1	専門分野	理由(業績、育成経験、専門性および役割など)
〇〇 〇〇	Xxxxxxxxx	大学		
〇 〇〇		株式会社 開発部		

研究者番号をお持ちでない方も必ず記載ください。研究者番号をお持ちでない方は、研究者番号の記入欄に「該当なし」と記載してください。

- 1 所属機関が異なる場合は、役職欄に機関名も記入してください。
- 2 申請機関以外の方で研究者番号をお持ちでない方は記載不要です。

3 - 3. 運営チーム(経営層)および SPRING 事業統括 (SPRING 申請中の大学のみ)の本事業へのコミットメント  
運営チーム(経営層)のメンバーおよび役割を記入してください。

氏名	所属部局・部署	役職	役割・コミットメント

必要に応じて行を追加してください。令和 6 年度 SPRING 公募に申請している大学の場合、その SPRING 事業統括に関しても必ず記載下さい。SPRING に採択された際には SPRING との一体的に運営していただきます。

本事業への運営チーム(経営層)および SPRING 事業統括 (SPRING 申請中の大学のみ)のコミットメントを記載ください。

SPRING 事業統括および経営層(大学本部)のコミットメントについて、「400 字程度の文書」と必要に応じて「図」で簡潔にご説明ください。

SPRING に採択された大学については、本プログラムで採択された学生の希望に応じ、SPRING で提供するキャリアパス支援等を受けることを可能とします。そのため、SPRING 事業統括も、本プログラムの意志決定および運営に関与してください。

3 - 3. ならびに あわせて 2 ページ以内におさめてください。

### 3-4. 選抜・育成の方針・計画 (2 ページ以内)

優秀な学生の募集・選抜の方法、選抜後の高度な AI 分野の専門性を有する研究人材への育成方針・計画および当該分野の研究人材を増大させるための方針・計画を記入してください。

選抜後の育成については、各々の学生が推進する研究に対する個別の支援・育成と、選抜された学生に対する組織的な支援・育成について、それぞれの方針および計画を記入してください。

技術の進歩が速い次世代 AI 分野において、異分野や新興・融合領域において活躍できる AI 人材を育成するための、組織横断的な育成の方針や計画があれば、記入してください。特に次世代 AI 分野以外を専門とする学生を選抜した場合、最先端の次世代 AI 分野の研究をキャッチアップし、本格的に次世代 AI 分野の研究を推進・先導していくことが求められます。異分野や新興・融合領域でのシナジー効果を生み出すための工夫や研究科・研究室の枠を超えた研究を支援するための連携体制などがあれば、記入してください。

SPRING に申請中の大学については、本プログラムと SPRING との連携等の構想があれば、記入してください。

計画書作成時には、関連する定量的な目標を記載いただく予定です。予め、ご承知おきください。

次世代 AI 分野以外の研究室に所属する場合は、例えば次世代 AI 分野を専門とする研究室にも所属するなどして、本格的に次世代 AI 分野の研究を推進・先導することでリーディングサイエンティストとして成長する覚悟のある学生が、支援の対象となることが強く求められます。